

令和 6 年 1 0 月 1 1 日

北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会
委 員 各 位

北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会
会長 小樽市長 迫 俊 哉

北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会の開催延期等について（通知）

日頃より、当協議会の活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当協議会では、北海道新幹線の開業を見据え、その効果を最大限に活用した魅力あるまちづくりを目指して、委員の皆様とともにアクションプランの取組を進めてまいりました。

しかしながら、別紙のとおり、本年 5 月に新幹線工事の事業主体から「2030 年度末の開業は極めて困難」との発表がありました。このため、アクションプランに基づく各種取組についても、開業時期を考慮して計画していたことから、新たな開業時期に合わせて一部事業の実施を延期せざるを得ない状況となっております。また、延期に伴い、より充実した内容で進めるため、一部の事業については取組を深める必要があると考えております。

このような背景の中、開業時期が不透明な状況では、進行状況の見直しや新たな検討は難しく、新たな開業予定時期が示されるまでの間、協議会の開催を年 2 回から 1 回に変更し、本年 10 月に開催予定の協議会については延期とさせていただきます。

なお、推進中の事業に関しましては、当面の間、取組内容を見直しつつ進めてまいります。これに伴い、各部会での議論内容も調整させていただきますが、進捗については適宜書面等にて御報告させていただきます。

今後とも、魅力あるまちづくりに向けて引き続きの御理解と御協力をお願いいたします。

【連絡先】

北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会事務局
（小樽市建設部 新幹線・まちづくり推進室）
〒047-0024 小樽市花園 5 丁目 10 番 1 号
電 話 0134-32-4111 内線 7275
F A X 0134-32-3963
メール sinkansen@city.otaru.lg.jp

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の開業時期について

令和6年5月8日、鉄道・運輸機構（以下「機構」）が、北海道新幹線の工事の状況等について国土交通大臣へ報告を行い、5月29日の「北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の工事に関する関係者会議」において機構と国交省から、本市を含む関係者に、大臣に報告した内容等の説明を受けました。

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の工事に関する関係者会議

- ・日時 令和6年5月29日（水） 10:30～11:40
- ・場所 ニューオータニイン札幌（札幌市中央区）
- ・主な出席者 機構 藤田理事長、国交省鉄道局 平嶋次長、知事、道議会議員、沿線自治体首長、経済団体関係者、ＪＲ北海道社長

1 機構の説明内容（概要）

①現状

- ・トンネル発生土受入地確保の難航や、予期せぬ巨大な岩塊の出現、想定を上回る地質不良などが生じ、現時点において計画に比べ3～4年程度の工事の遅れが発生。

②今後の見通し等

- ・一部工区では現在も地質不良が継続。本年4月以降の働き方改革も実施となり、更なる遅延要因がある。
- ・こうした状況から2030年度末の開業は極めて困難。新たな開業時期については、現時点で具体的に示すことは技術的に困難。
- ・なるべく早く今後の見通しを明らかにできるよう最大限対応していく。
- ・一日も早い開業に向け最大限努力していく。

2 国交省の説明内容（概要）

①国土交通大臣から鉄道局及び機構への指示事項

- ・報告内容が合理的か、講じることができる方策がないか、有識者の知見も頂きつつ、様々な角度・観点から検討を行い、改めて全体工程の精査を行うこと。
- ・開業目標に関する今後の見通しについての検討作業を早急に開始する必要があるので、機構においてもその検討作業にしっかり対応すること。
- ・実務面での英知を横断的に集結するとともに、人材や資機材の確保など幅広く関係者の協力を得るなどして、工期遅延を短縮するための様々な検討を行い、一日も早い完成・開業を目指すこと。
- ・地元自治体等の関係者への丁寧な説明を行うこと。

3 主な意見

地元関係者

- ・開業の遅れは、まちづくりや地元経済等への影響が非常に大きい。
- ・一日も早い完成・開業に向けた取組をお願いする。
- ・新たな開業目標を含め、今後の見通しについて、できるだけ早期に示していただきたい。

知事

- ・関係者が一堂に会し、情報や課題の共有、可視化を図ることができる新たな枠組みについて検討したい。

北海道新幹線札幌延伸推進会議の設置について

北海道新幹線札幌延伸推進会議

●設置目的

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）における新幹線建設工事の進捗等及び今後の見通しなどについての情報を関係者間において共有するとともに、広く道民に周知することを目的とする。（７月２３日設置）

●所掌事項

- （１）新幹線建設工事の進捗状況の把握
- （２）有識者会議における検討内容の把握
- （３）その他目的を達成するために必要な事項

●設置内容

北海道新幹線札幌延伸推進会議

各機関のトップ（首長等）による情報共有
座長：知事

北海道新幹線札幌延伸推進会議 幹事会

各機関の事務方トップ（副首長等）による情報共有
座長：副知事

●構成機関（新幹線駅設置自治体や経済・観光団体など 16 機関）

札幌市	新幹線駅設置自治体	北海道商工会議所連合会
小樽市		北海道経済連合会
北斗市		北海道建設業協会
倶知安町		北海道観光機構
木古内町		J R 北海道
八雲町		国交省鉄道局
長万部町		鉄道・運輸機構
北海道		北海道議会

➤ ７月２６日に第１回幹事会、７月３０日に第１回推進会議が開催されました。

《概要》

- 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）工事の状況等についての説明【鉄道・運輸機構、国交省】
- 意見交換【地元関係者】
 - ➡ 「開業時期に関する今後の見通しを早期に示してほしい」、「一日も早い完成・開業を願う」、「わかりやすい情報共有の強化を求める」など

※ 各会議の資料、議事録については、北海道のホームページで公開し、情報発信を行っています。